

カリキュラム

機構施設名： 沖縄職業能力開発促進センター
実施機関名： 株式会社パワートレイン

A.バックオフィス	IT新技術による業務改善
新技術活用	

コースのねらい	第4次産業革命下における新技術を含めたITを活用し、作業の自動化や共有能力の拡充等により新たな業務の合理化・迅速化が図られていることを理解し、自社業務に適切な新技術を選定する知識を習得する。
---------	---

講義内容	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間 (H)
	1	新技術の概要	(1)生産性向上とDXとは 生産性向上とは何か、その概念について解説します。その上で、「IT技術を活用して新しい価値を創造する」という概念であるデジタル・トランスフォーメーション(DX)について、国内での動向を解説します。 日々、世界中で新しい技術が開発され、新しいサービスやツールが登場しています。ここではどのような新しい技術が開発・活用されているのかを分かりやすく解説します。	1.0
			(2)DX状況自己チェック【演習あり】 自社のDX状況について、Webの無料アセスメントツールを使って自己点検を行います。主観的なアセスメントですが、グループ内でそのデータを共有し、個々人の観点の違いも明確にします。	0.5
			(3)クラウド概要 IT新技術の代表として、クラウドについて解説します。クラウドは現代においてDXを進めるための基盤技術です。クラウドとはなにか、どのような利用方法があるか、利用する上でのセキュリティをどう考えたらよいか解説します。	1.0
			(4)ビッグデータ、RPA、AIの概要 一般的なデータ分析ソフトでは活用しきれないほど巨大なデータ(ビッグデータ)やAIの活用事例について、身近なサービスを例に解説します。また、巨大なマクロとして動作するRPAについても、どのように動作するのか、また、どのような作業で自動化が可能なのかをデモンストレーションを交えて解説します。	1.0
	2	新技術の導入事例	(1)新技術の導入事例 新しい技術を導入して自社の業務改革を達成している事例をご紹介します。製造業、サービス業、農業、介護・福祉など、多くの分野での事例について動画や当該企業のサイトなども活用しながらご紹介します。また、大企業のみならず、中小企業や個人事業主などの小規模事業者での事例を多くお伝えします。	1.0
			(2)業務改善の基本【演習あり】 業務改善の基本となるOIP(アウトプット、インプット、プロセス)の考え方と業務改善のステップについて解説します。 改善方法の検討フレームワークの一つであるECRSについてもカンタンに解説します。	0.5
			(3)IT技術を利用した業務改善【演習あり】 企業の大小に関わりなく、IT技術を活用して業務改善を行うことができます。ここでは自社で改善に取り組む際、どのような環境を整えたらいいか、IT技術の導入ステップについて解説します。また、実際に自社でどのような課題があり、どのようなツールを使って改善するのか、についてワークシートを使った演習を行います。	1.0
合計時間				6.0

カリキュラム作成のポイント
世界の最新技術活用のトレンドを事例を交えて分かりやすく解説します。大企業と比べて人や資金等のリソースが少ない中小企業でもアイデア次第で大きなビジネスチャンスがあることをお伝えします。 自社ですぐに取り入れられるDXのアイデアもふんだんに盛り込みます。